

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
1	都市戦略部 都市戦略課	経済波及効果分析	継続	その他	市の事業に大学等が協力	市が自らの判断と責任に基づくまちづくりを行っていきにあたり、各施策の経済波及効果を明確にすべく、専門的知見を有する大学及び地域金融機関と協働で波及効果測定を行う。	平成27年度～	平成27年度は、「八王子市プレミアム付商品券事業」の経済波及効果について、事業費の約1.8倍の経済波及効果があったことを分析することができた。平成28年度以降についても、大学と協議しながら事業を選定し、経済波及効果の分析を実施している。	明星大学	
2	都市戦略部 都市戦略課	八王子まち・ひと・しごと創生総合戦略推進懇談会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	「八王子まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定及び同戦略に基づき実施する事業の検証に、市民及び多様な関係団体等の視点から意見を述べる懇談会を設置。同懇談会への委員派遣を大学に依頼。	平成28年度～	平成27年10月に策定した「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」について、平成28年10月7日に懇談会を開催し、平成27年度実績の検証結果について意見を伺った。	首都大学東京 多摩大学	
3	都市戦略部 都市戦略課	シティプロモーション動画制作	継続	その他	市の事業に大学等が協力	学園都市としての特長を活かし、大学との協働によりプロモーション映像を制作する。	平成27年度～ 平成29年度(予定)	限られた予算で質の高い動画作成ができただけでなく、取組の独自性が注目を集め、メディアに取り上げられた。	デジタルハリウッド大学	
4	総合経営部 広聴課	八王子市市民参加推進審議会	継続	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	市民の市政への参加を推進するとともに市民参加条例の適切な運用を図るための議論を行う。	2年	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績、指導力などにより、事業目的が達成される。	中央大学 総合政策学部 首都大学東京 都市教養学部 都市政策コース	
5	総合経営部 広聴課	施設見学会	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	公募市民対象の市内施設の見学会。市民の市政への理解を深めるとともに身近な市民参加の機会とする。	平成28年7月27日	市民が大学等(教授・学生・施設)と接する貴重な機会となり、市民への大学等への理解が深まる。	多摩美術大学	
6	市史編さん室	市史編さん室職員の大学図書館利用	継続	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	市史編さん室職員による法政大学多摩図書館の利用。	平成21年度～ 平成28年度(予定)	豊富な所蔵資料の閲覧・貸出が許可されたことにより、市史編さんに必要であるが、貴重かつ高価で入手困難な専門図書を利用することが可能になった。	法政大学	多摩図書館
7	市史編さん室	八王子市市史編さん審議会	継続	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	市史編さん事業の適正な推進を図るため、市史編さんの基本構想の策定に関する事項、編集方針に関する事項、その他市史編さん事業の推進に関する事項について調査審議し答申する。	平成20年度～ 平成28年度(予定)	学識経験者としての専門的知識や豊富な経験を、市史編さん事業の推進に生かすことができる。	中央大学 成蹊大学 東海大学	
8	市史編さん室	八王子市市史編集委員会	継続	芸術・文化	検討会委員、講師派遣等に協力	市史の編さんについて専門的知識を有する大学教員などの学識経験者等により組織し、市史の内容や構成など、市史編集に関わる専門的事項について協議する。	平成21年度～ 平成28年度(予定)	委員の持つ専門的な知識や経験を生かし、市史の編集を進めることができる。	中央大学 専修大学 成蹊大学 東海大学 国学院大学	
9	市史編さん室	八王子市市史編集専門部会	継続	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	市史編集専門部会へ、大学教員ならびに大学院生等が参加し、各専門分野ごとに具体的な調査研究を実施。	平成21年度～ 平成28年度(予定)	市史編さんの各分野について専門的知識を有する者を委員に迎えることにより、高度かつ効率的な調査研究を行うことができる。	中央大学 創価大学 首都大学東京 ほか	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
10	行財政改革部 行革推進課	八王子市行財政改革推進審議会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	行財政改革の基本方針及び行財政改革の推進に関する重要事項についての調査審議を行う。	任期2年	専門分野における高度な知識に基づいた意見を行財政改革に活かすことができる	平成27年度は開催していないため、連携実績なし	
11	行財政改革部 行政管理課	使用料等受益者負担適正化検討会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	使用料等にかかる受益者負担の適正化について、市民等から幅広く意見を聴取する。	平成27年～	専門的・学問的な意見を聴取することができるとともに、会議での議論をより深めることができる。	中央大学 首都大学東京	
12	行財政改革部 行政管理課	公共施設マネジメント推進計画検討会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	公共施設の現状、将来予測を踏まえ、施設等の最適な配置や長期的視点での更新、統廃合、長寿命化等に関する今後の方向性を示す公共施設マネジメント推進計画を策定するため、市民等から幅広く意見を聴取する。	平成27年～	専門的な意見や、実際に公共施設を利用する市民の意見を聴取することで、会議での議論をより深めることができる。	一橋大学 千葉工業大学	
13	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	八王子まつり案内及びグッズ販売 主催:八王子まつり実行委員会	継続	まちづくり	その他	八王子まつり開催にあたり駅等に設置の案内所におけるパンフレット等配布による観客への案内及び販売ブースでのグッズ販売員としての人的協力 警備・清掃	八王子まつり開催の3日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図られる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校	
14	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	フラワーフェスティバル由木	継続	まちづくり	その他	フラワーフェスティバル由木開催にあたり案内所及びプレイランドでの手伝いとしての人的協力	まつり開催の2日間	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図られる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	東京工科大学	
15	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	八王子いちよう祭り 主催:いちよう祭り祭典委員会	継続	まちづくり	その他	八王子いちよう祭り開催にあたり案内所でパンフレット等配布による観客への案内及びグッズ販売員あるいはイベント警備や会場清掃としての人的協力	まつり開催の2日間と開催後の1日間(計3日間)	1. 財団として産学公の連携が図られる 2. まつりを通じて地域住民との交流が図られる 3. まつりへの参加によるふるさと意識の啓発 4. 若年層の観客動員への期待	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 法政大学 中央大学	
16	市民活動推進部 協働推進課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 コミュニティ振興課	八王子まつりポスターデザイン 主催:八王子まつり実行委員会	継続	まちづくり	その他	八王子まつり開催PRのため制作するポスターのデザインの協力	平成28年2月～6月	1. まつりへ係わりによるふるさと意識の啓発 2. 若年層の観客動員への期待	日本工学院八王子専門学校	デザインカレッジ
17	市民活動推進部 学園都市文化課	八王子学園都市大学評議会	継続	生涯学習	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子学園都市大学の重要事項について意見を聴取する評議会評議員への就任を参加大学へ依頼。	任期2年	八王子学園都市大学の運営方針などについて実際に講座を提供している大学側の意見を反映させることにより、より充実した内容にすることができる。	創価大学 東京工科大学 ヤマザキ学園大学	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
18	市民活動推進部 学園都市文化課	第23回 工学院大学わくわくサイエンス祭	継続	教育	その他	包括連携協定締結後の初開催となる『第23回工学院大学わくわくサイエンス祭』を市制100周年に向けて共催にて実施。広報面活動を中心に協力を行った。	8月27日 8月28日	前回開催より、八王子市民の参加が増加し、科学の実験など、体験を通じて市民が大学を知る機会につながられた。また、工学院大学が作成するポスター及びチラシの中に、市制100周年記念ロゴを掲載してもらい、事業の推進とともに市制100周年の周知を進めることができた。	工学院大学	科学教育センター
19	市民活動推進部 学園都市文化課	八王子市文化振興推進評議会	継続	芸術・文化	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市文化振興計画の進捗状況を確認し、評価や見直しにより計画を着実に推進していくため、必要な提言などを行う。	平成26年～	文化芸術振興について、学生からの意見を聴取することができる。	杏林大学	地域交流推進室
20	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生天国	継続	まちづくり	その他	八王子学生委員会及び大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生有志による「八王子地域合同学園祭」。	平成17年～ 毎年 5月第2日曜日	市が協力することにより市民への周知など対外的なPRの面で効果がある。	八王子学生委員会 大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等の学生有志	
21	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生発表会	継続	産業振興	その他	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学等の学生に、研究成果を発表する場を提供し、大学間の交流を図るとともに、企業・大学関係者及び市民から講評等を受ける機会を提供することにより、産学連携及び地域活性化に資することを目的とした「学生発表会」を開催。また、学生のアイデアを市長に直接提案する「学生と市長とのふれあいトーク」と融合し実施。	平成15年4月～ 毎年 12月の土・日	他大学の学生との交流や学生、教員、企業関係者等から評価を得られる。学生の研究成果・アイデアを企業や市政に提言することによる地域の活性化。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
22	市民活動推進部 学園都市文化課	学生が八王子市長へ直接提案！～最終選考会～ 〔「学生と市長とのふれあいトーク」より平成28年度名称変更〕	継続	まちづくり	市の事業に大学等が協力	まちづくりに関する幅広い分野で研究・活動を行っている学生達に日頃の活動の成果やまちづくりに対する提案を発表してもらい、市長と意見交換を行う。	平成18年～	本市のまちづくりについて市長との意見交換を交えた中で学生から貴重な意見、提案がなされ今後のまちづくりの参考とすることができた。また、来場者(学生・市民)に学生の活動やアイデアなどを知ってもらう良い機会となった。	杏林大学 創価大学 創価女子短期大学 拓殖大学 首都大学東京	杏林大学 久野ゼミナール、創価大学 勤坂純市ゼミナール、創価大学 天谷ゼミナール、創価女子短期大学 水元研究室、拓殖大学 徳永研究室、拓殖大学 福田恵子ゼミナール、拓殖大学 シビックデザイン研究室、首都大学東京 沼田研究室
23	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	学生企画支援補助事業	継続	教育	その他	大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学生や学生と市民の交流を目的としたイベント企画を支援補助する事業。	平成17年～ 通年	学生及び学生と市民の連携による地域貢献活動を促進することができる。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
24	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	公開講座の共催	継続	施設利用	その他	学園都市センターを会場に開催される各大学の公開講座のポスター・チラシによるPR等の実施。	H14年4月～ 通年	大学等との協力による講座の提供により、市民に対し生涯教育の一助となる機会を提供することができる。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
25	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	八王子が分かる事典 大学と連携した情報収集のしくみづくり	継続	まちづくり	市の事業に大学等が協力	大学の研究室が独自に収集・作成している八王子に関するデータを共同で有効活用できるしくみの構築。	長期継続	大学の収集・研究したデータを活用し、市の特性を把握することで、事業や計画実施に役立てる。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
26	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	八王子市学園都市推進会議	継続	まちづくり	その他	ビッグウエストの発行とホームページの更新 学生フェスティバルの開催 いちよう祭りへの参加 箱根駅伝出場校壮行会及び応援の実施。	H14年4月～ 通年	新入生のための生活便利帳「ビッグウエスト」を大学コンソーシアム八王子加盟25大学等へ配布。音楽祭・書道展・写真展・美術展など学生フェスティバルへ多数の大学から参加。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
27	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	八王子学生委員会	継続	まちづくり	その他	学生天国の実施やいちよう祭りへの参加など学校間の壁を越え、学生がいいきいと地域で活動できる街をめざす	H14年4月～ 通年	学生相互及び学生と市民の交流を促進させ、学園都市八王子のブランドイメージの創出に貢献する。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
28	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	大学コンソーシアム八王子情報発信	継続	まちづくり	その他	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の魅力を広くPRし、大学・学生・市民等との連携、交流の促進を目的に作成。	平成21年～ 通年	大学コンソーシアム八王子の設立及び大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の魅力や存在をあらためて周知することで、「学園都市八王子」のイメージアップを図る。また、各大学学園祭や大学で活躍する方々を紹介することで大学・学生と市民等との交流の促進に貢献できる。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
29	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	夏休み子どもいちよう塾	継続	教育	その他	幅広い分野の学部が所在する特色を活かして、八王子地域の小学生4～6年生を対象に、夏休みの特別講座を開講する。文系理系を問わず幅広い科目を提供する。	毎年 7月の土・日曜日	多様な教育機会を提供することで、子どもの学ぶことへの関心・意欲を高めるとともに、大学に興味を持ってもらう。	工学院大学 明星大学 東京工業高等専門学校 東京純心大学 多摩美術大学 創価大学 東京薬科大学 拓殖大学 日本文化大学 東京家政学院大学 サレジオ工業高等専門学校 中央大学	
30	市民活動推進部 学園都市文化課 大学コンソーシアム八王子	FD・SDフォーラム	継続	教育	その他	加盟大学教職員の教育力向上と、地域社会や全国の教育機関関係者等との交流、相互理解を目的にさまざまな視点から基調講演や分科会を企画し、全国フォーラムを開催する。	8月の連続した2日	連携大学等の教職員が共通して直面する問題、課題などについて情報交換ができるとともに、全国から参加する教育機関関係者との交流を通して教職員の意識改革や資質向上に繋がる取組みとなる。	工学院大学 明星大学 東京工業高等専門学校 杏林大学 創価大学 東京薬科大学 中央大学 首都大学東京 東京工科大学 東京家政学院大学 桜美林大学	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
31	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 学園都市振興課	八王子学園都市大学	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	周辺部を含めた大学コンソーシアム八王子加盟25大学等と連携し、高度で専門的な学習機会を継続的に提供することにより、市民の生きがいづくりや地域の活性化に寄与するもの。	平成16年9月～ 通年	高度な教育を通じて人材育成が図られ、地域の活性化につながる。また、市民が大学をより身近に感じられる「学園都市づくり」が促進される。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
32	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 学園都市振興課	八王子地域25大学情報コーナー	継続	その他	その他	大学コンソーシアム八王子に加盟する大学コンソーシアム八王子加盟25大学等の学校案内、入学案内などを市民に提供。	平成20年～ 通年	地域にある大学を市民に広く周知することができる。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
33	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 学園都市振興課	学生交流サロン貸出事業	継続	その他	その他	大学の学生や教員、また学園都市大学の受講生が無料で打合せ等に利用できるスペースを開放した。	平成18年～ 通年	学生が打合せ等ができる空間を確保し、学生が集まり易い環境とした。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
34	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課	伝統文化ふれあい事業	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	街なかで市民が伝統文化にふれる機会を創出し地域資源の新たな発見と積極的な活用をはかるもの	平成18年度から継続	学生の感性を取り入れた事業が行える。学生にも伝統文化にふれる機会を提供できる。市民と学生との交流ができる。	杏林大学	古本ゼミ
35	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化振興課	南大沢コミュニティオペラ	継続	芸術・文化	市の事業に大学等が協力	プロ・セミプロ・アマ・学生・ふれあい財団が力を合わせて創造する手作りのオペラ。「創る」「演じる」「観る」喜びを多くの方と分かち合い、地域に根付いた活動となることを目指す。	1年	本格的な市民オペラを創り上げるために、単なる制作経費の削減ではなく、地域と一体化した手作りの活動になること、また、学生の学習成果を発揮する場としても活用されている。	東京家政学院大学 山野美容芸術短期大学 東京工科大学	生活デザイン学科 専攻科芸術専攻 メディア学部 ntebro
36	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 経営管理課	評議員会 諮問委員会	継続	その他	その他	財団の理事・評議員に大学関係者を選任している。	常時	学生の事業への参加・関心の促進 直接、財団事業について意見交換ができる。	多摩美術大学 大東文化大学 中央大学 東京工科大学	
37	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化会館	インターンシップ	継続	芸術・文化	市が大学等にボランティアを依頼	学生に実務の体験と学習の場を提供し、その経験を文化活動に活かし、舞台技術を通じて、「活動する人」として、文化の担い手(文化人)となる環境づくりに資する。	1年	その経験を文化活動に活かし、学園都市振興や文化人の育成に資する。更に、学校の特性を活かすため、舞台業務の専門性の理解等レベルアップが図れる。	日本工学院八王子専門学校 コンサート・イベント科	
38	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団 南大沢文化会館	会館内の分かり易い経路誘導の改善	継続	その他	市の事業に大学等が協力	会館内の分かり易い経路誘導を改善するため、大学の専門家に依頼する。	平成25年～ 通年	館内の施設誘導サインの検証を重ね、より良いデザインの構築を図る。また、最寄駅から会館までのスムーズな誘導も視野に入れた活動を進める。	首都大学東京	産学公連携センター

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
39	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 南大沢文化会館	南大沢文化会 館ダンスワー クショップ	継続	教育	市が大学等にボ ランティアを依頼	26年度に実施する学生の指導により、小中学生 が正しいダンスの技術や、体の動かし方を習得す るワークショップのプログラムを共同で作成した。	平成26年～ 通年	学生が指導することにより、大学が地域に とってより身近なものとして認識されるとと もに、南大沢地域のダンス文化の拡充を 図り、表現力豊かな将来の文化人を育成 する。	東京工科大学	
40	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 夢美術館	学芸員実習の 受入	継続	教育	その他	学芸員資格を取得するために必要となる博物 館実習を夢美術館で希望する学生を受け入れ る。	5日間(10月)	①学生に実習の場を提供でき、また大学 との協力体制が取り易くなる。 ②将来他の美術館との連携の可能性が 広がる。	東京造形大学、実践女子大学、 東京学芸大学、共立女子大学、 明星大学、金沢美術工芸大学	
41	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 夢美術館	博物館見学実 習	継続	教育	その他	大学が開講する博物館見学実習の場を提供し職 員が対応した。	1日	学生の美術館への理解を深めることがで きる。出席者は、大学の正規の単位とな る。	首都大学東京	システムデザイン 学科
42	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 夢美術館	東京造形大学 フラッグキャリー プロジェクト	継続	芸術・文化	その他	東京造形大学グラフィックデザイン専攻領域の授 業の一環としてとり組まれた学生のデザインによ るフラッグを作成し、西放射線商店街の協力を得 て西放射線ユーロードのポールに掲出、広く市民 に公開する。	7月～11月	多くの学生が参加し、街の賑わいを創出 できた。また、継続をすることで商店街と のコミュニケーションが図れている。	東京造形大学	
43	市民活動推進部 学園都市文化課 (公財)八王子市学園 都市文化ふれあい財 団 夢美術館	銅版画画家清 原啓子共同研 究	継続	芸術・文化	市の事業に大学 等が協力	夢美術館が収蔵する銅版画についての調査及び 保存処置し、展示等での公開資料とする。	10月～1月	1. 大学教員の研究成果及び大学設備、 教員、学生の技術を活用することができる。 2. 市の出身で連携大学の卒業生の版画 家を研究、紹介することで八王子の文化 を高める。	多摩美術大学	版画研究室
44	市民活動推進部 多文化共生推進課	国際交流フェ スティバル	継続	多文化共 生	市の事業に大学 等が協力	毎年秋に開催する国際交流フェスティバルの周 知用ポスターの原案を大学の授業で作成してもら い、数点をフェスティバル開催時に会場に展示す る。	5月～6月 展示は10月	学生の感性を取り入れることで、国際交流 フェスティバルへの若い世代への参加の 促進につながる。	サレジオ高専	佐久間講師
45	市民活動推進部 多文化共生推進課	高雄ランタ ンフェスティ バルへのパフ ォーマンス団 派遣	継続	多文化共 生	市の事業に大学 等が協力	本市の海外友好交流都市である台湾・高雄市で 開催される「高雄ランタンフェスティバル」に大学 コンソーシアム八王子加盟25大学等を代表し、明 星大学ダブルダッチチームが出演した。	2月	1. 台湾・高雄市の多くの市民の方に、日 本の文化を知っていただくことができる。 2. 高雄市との友好関係が深まると共に、 市民交流の促進につながる。	明星大学	ダブルダッチチ ーム「Shakin Key!
46	市民活動推進部 多文化共生推進課	地域のイベ ントへの参加	継続	多文化共 生	その他	地元町会・自治会等で開催される防災訓練に、八 王子国際協会と連携し外国人留学生が参加。ま た、高尾山観光案内所や八王子まつり、みんな の川の清掃デーなどの行事にボランティアとして 参加。	1年	1. 留学生が日本の文化を体験する機会 につながる。 2. 地元町会・自治会の方々が、留学生と 交流を通じて、異文化を理解する機会が 得られる。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	留学生
47	市民活動推進部 多文化共生推進課	多文化共生推 進評議会	継続	多文化共 生	検討会委員、講 師派遣等に協力	2013年3月に策定された「多文化共生推進プラ ン」の進捗状況や本市の多文化共生推進施策に 意見等をいただくにあたり、本プランの策定に、ご 尽力をいただいていた中央大学の森茂教授に、 本委員会の座長を務めていただいている。	4年	多文化共生に関する専門的な知識を持っ ており、また、本プラン策定に至るまでの 経緯も把握されているため、的確に委員 会を取りまとめていただいている。	中央大学	文学部 森茂教授

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
48	市民活動推進部 多文化共生推進課	教員のための 国際理解教育 ワークショップ	継続	多文化共 生	検討会委員、講 師派遣等に協力	市内の小中学校の教員を対象とした研修を開 催。	4月～7月	テーマに精通した研究者の話が聞けた	帝京大学教育学部	中山教授
49	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画 センター運営	継続	その他	検討会委員、講 師派遣等に協力	男女共同参画施策推進会議参加者	2年	男女共同参画施策の推進及び男女共同 参画センターの運営に識者の意見・助言 を活かしている。	首都大学東京	
50	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画 センター運営	継続	その他	大学等の研究事 業に市が協力	市職員等が大学へ出向き、デートDV等について 講義を行う大学との共催事業。	必要に応じて	これからの社会を担う学生たちに対し、男 女共同参画の理解やDV・デートDVなど の認識を深めてもらい、女性に対する暴 力を許さない地域社会の実現を図る。	中央大学	
51	市民活動推進部 男女共同参画課	男女共同参画 センター運営	継続	その他	その他	大学コンソーシアム八王子を通じて、市内の大学 に、パンフレット「デートDVってどんなことだろう」 の配架を依頼。	必要に応じて	学生に「デートDV」について理解してもら い、公の相談窓口について情報提供をす ることができた。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
52	市民活動推進部 男女共同参画課	附属機関等へ の女性参画の 推進	終了	その他	市の事業に大学 等が協力	附属機関等における女性委員の参画率向上を図 るため、大学等へ女性教員の紹介を依頼。	必要に応じて	政策・方針決定過程への女性の参画を積 極的に推進することにより、男女共同参画 の視点に立った行政運営や大学等の地 域貢献を推進することができる。	創価大学	
53	総務部 総務課	平和展 (平和推進事 業)	継続	その他	市の事業に大学 等が協力	①平和展実行委員会の参画・運営(平和展の企 画や事前準備及び撤去、開催期間中の会場運営 等) ②市でお願いしている八王子空襲に関する映像 の作成 ③平和展での講演	①平成24年度～ ②平成26年度～ ③平成27年度～	①平和展の企画・運営に学生独自のアイ デアを多く採用でき、心のもった運営に より来場者にも好評を得ている。 ②平和展及び平和推進活動全体におい て、貴重な資料として活用している。 ③②で映像作成に携わった学生に、作成 秘話等を話してもらうことで、八王子空襲 についてより深い理解ができる。	①帝京大学 ②③中央大学	①児童文化研究 会～step～ ②③松野ゼミナ ール
54	総務部 総務課	情報公開・個 人情報保護審 査会	継続	その他	検討会委員、講 師派遣等に協力	公文書の公開請求及び個人情報の開示請求に 係る実施機関の決定に対する不服申立てにつ いて、実施機関からの諮問に応じ、第三者の立場で 審議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を有して いるため、審議において大変有用である。	創価大学 法政大学 首都大学東京	
55	総務部 総務課	情報公開・個 人情報保護運 営審議会	継続	その他	検討会委員、講 師派遣等に協力	情報公開・個人情報保護制度の運営に関する重 要事項等について、市長の諮問に応じ、第三者 の立場で審議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を有して いるため、審議において大変有用である。	中央大学 東京工科大学 亜細亜大学	
56	総務部 総務課	政治倫理審査 会	継続	その他	検討会委員、講 師派遣等に協力	政治倫理に関する事項についての調査請求に対 して、市長からの付託に応じ、第三者の立場で審 議調査する。	任期2年	行政、法律等において高い見識を有して いるため、審議において大変有用である。	中央大学	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
57	総務部職員課	インターンシップ	継続	その他	その他	大学のカリキュラムの一環であるインターンシップの受入れ。	各大学との協定により決定	学生に公務員の仕事や本市の施策等を理解してもらう機会になるとともに、市側が学生の意見・提案に直接触れる機会となっている。	中央大学、法政大学、創価大学、首都大学東京、帝京大学、杏林大学、明星大学、拓殖大学、日本文化大学、工学院大学	
58	財務部契約課	八王子市総合評価方式検討会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	本市における総合評価方式による入札契約制度の見直しに向けて、総合評価方式の評価項目、運用方法等について意見聴取等を行う。	2年	学識経験者としての専門的意見を聴けることと、恣意性の排除、中立性及び公正性が確保できる。	首都大学東京 都市教養学部 都市政策コース 創価大学 法学部 拓殖大学 工学部 デザイン学科	朝日ちさと准教授 土井美徳准教授 永見豊准教授
59	税務部住民税課	軽自動車税の賦課(課税客体の適正な把握)	継続	その他	市の事業に大学等が協力	原動機付自転車の廃車手続きPRポスター掲示の依頼並びに大学のホームページへの原動機付自転車の廃車PR文掲載及び市ホームページの原動機付自転車に関する手続きのページへのリンク設定の依頼。	12月上旬	大学生が所有する原動機付自転車について、廃棄、譲渡、市外転出、盗難・紛失したときの廃車手続きの徹底。	八王子市及び隣接する地域の大学、短大、高専	
60	生活安全部防犯課	八王子市生活安全対策協議会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市生活の安全・安心に関する条例に基づき、防犯対策などを検討する。	平成15年3月～現在(任期は2年)	学生・地域住民・警察・市が様々な立場からの意見交換を行うことで、より安全で安心して暮らせるまちづくりに寄与することができる。	日本文化大学	
61	生活安全部防犯課	落書き消去活動	継続	その他	市が大学等にボランティアを依頼	地域住民や警察署等と連携し、落書きを消すことで犯罪が起きにくいまちを目指す。	随時	学生が参加することで、連携している地域住民の防犯対策への意欲が高まる。	日本工学院専門学校	
62	生活安全部防犯課	防犯啓発活動【キャンペーン】	継続	その他	市が大学等にボランティアを依頼	地域住民や警察署等と連携し、防犯に関する注意喚起のキャンペーンを行う。	随時	学生が参加することで、連携している地域住民の防犯対策への意欲が高まる。	山野美容芸術短期大学	
63	生活安全部防犯課	防犯防災フェア	継続	その他	市が大学等にボランティアを依頼	防犯や防災について広く啓発し、市民の意識を高めてもらうためのイベント。	1日	学生の防犯防災への意識を高める。	日本工学院専門学校	
64	生活安全部防犯課	防犯啓発活動【イベント】	継続	その他	市が大学等にボランティアを依頼	消費生活フェスティバルの防犯課ブースにおいて、身近な防犯に関する知識を紹介する。	1日	学生の防犯への意識を高める。	日本工学院専門学校	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
65	生活安全部 防犯課	ハッピーデーにおける特殊詐欺被害防止キャンペーン	終了	その他	市が大学等にボランティアを依頼	市内大型店舗の集客のある定例特売日において、特殊詐欺被害防止の注意喚起を行うためキャンペーンを行なった。	平成28年9月18日 平成28年10月18日	多文化共生推進課に依頼し、市内大学に通う留学生を募集した。市民に興味を持っていただくことができ、より多くの市民に啓発することができた。	拓殖大学 東京純心大学 (参加が多い順)	
66	生活安全部 防災課	災害時における広域避難場所及び一時避難場所	継続	防災	市の事業に大学等が協力	災害時に市民の生命を守るため、広域避難場所及び一時避難場所として指定し、施設を使用する	避難場所としての必要がなくなるまで	地震火災やその他の大規模火災発生時の、火災による輻射熱から避難者の生命を保護するための、オープンスペース、一時避難場所として市民の安全確保ができる。	首都大学東京、中央大学、東京薬科大学、東京工科大学、工学院大学、創価大学、拓殖大学、明星大学	
67	生活安全部 防災課	災害時ボランティア活動に関する相互協力	継続	防災	市が大学等にボランティアを依頼	大学、消防署、市が連携し、災害時に大学生のボランティアを活用して災害対策活動を行うもの。大学は、学生に向けてボランティアニーズの広報等を行う。	平成18年3月以降順次締結し、解消の申し出のあるまで	市内の大学に在学する学生の力を災害時に活用することにより、災害時ボランティア要員の確保が図れる。	創価大学、拓殖大学 帝京大学、東京薬科大学	
68	生活安全部 防災課	八王子市総合防災訓練	継続	防災	市の事業に大学等が協力	災害に備えて消防署・警察署・消防団・自衛隊などの関係機関と合同で行う総合防災訓練。	1日	医師会等の関係機関と連携した実践的な訓練を行うことで、災害時における看護活動等をより円滑に行うことができる。	看護専門学校	
69	市民部市民生活課	弁護士による無料法律相談(リーガル・クリニック)	継続	その他	大学等の研究事業に市が協力	「ローヤリング・クリニック」科目における法律相談実習(リーガル・クリニック)。市民等を対象にした無料の法律相談に学生が同席して法務実務を習得)を実施するにあたり、市が相談場所の提供や周知等で協力する。	12月	市でも法律相談を実施しているが、市民の相談を受ける機会が増加し、市民サービスの向上につながる。 ※27年度は、協力のための文書取り交わしまでで、相談は未実施。	創価大学法科大学院	
70	市民部 消費生活センター	大学教職員向け消費者教育研修会	継続	その他	市の事業に大学等が協力	学生の消費力向上を目指し、市と大学が連携し、市内大学等の教職員を対象に消費者教育に関する研修の実施。	6月28日 7月4日	学生に対する消費生活及び消費者問題に関する情報や知識の提供機会の拡大。	大学コンソーシアム八王子加盟校のうち4校(工学院大学、法政大学、中央大学、東京工科大学)	
71	市民部 消費生活センター	大学生向け消費者被害防止啓発活動	終了	その他	市の事業に大学等が協力	大学生の消費者被害防止のため、大学生向けの消費者被害防止リーフレット・クリアファイルを杏林大学の学生と共に作成し、大学コンソーシアム八王子の加盟校から配布希望のあった大学に配布する。	11月～12月	事業を通じて大学生への消費者教育を推進することができた。また、大学側にも消費者教育の必要性を訴えることができた。	大学コンソーシアム八王子加盟校のうち東京造形大学、拓殖大学を除く23校(ただし、うち8大学については大学生に手渡しによる配布も実施した。)	
72	福祉部 福祉政策課	八王子市社会福祉審議会	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	中核市移行に伴い、本市の社会福祉に係る施策に関する事項について調査審議するため、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき設置する、市長の附属機関。地域福祉専門分科会・民生委員審査専門分科会・高齢者福祉専門分科会・障害者福祉専門分科会・児童福祉専門分科会及びその下部組織としての部会により組織。	平成27年4月1日～	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行が出来る。	明星大学 首都大学東京 日本女子大学 田園調布大学 日本大学 ※民生委員審査専門分科会は学識経験者なし	
73	福祉部 福祉政策課	八王子市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	福祉施策推進のための基本理念の策定及び地域福祉に関する重要事項について調査審議する。 (旧:地域福祉推進協議会)	平成27年4月1日～	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行が出来る。	首都大学東京 日本女子大学	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
74	福祉部 高齢者いきいき課	高齢者活動 コーディネート センター運営	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	経験や特技等を持つ高齢者とそれを必要とする団体を結びつけるコーディネートを行い、高齢者の社会参加及び生きがいづくりを推進する。また、社会参加のきっかけとなる講座やコーディネーター養成の講座を実施する。	平成28年9月8日 ～10月28日 平成29年2月1日 ～3月9日	専門的分野における講演をいただくことで受講生の意識の向上につながっている。	桜美林大学 拓殖大学	
75	福祉部 高齢者いきいき課	八王子市社会 福祉審議会 高齢者福祉専門分科会	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	高齢者計画・介護保険事業計画の策定及びその重点事業・課題に関する事項について調査審議する。また専門的な事項を調査審議するため、高齢者あんしん相談センター運営部会および高齢者施設整備審査部会を設置。	平成27年4月1日～	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行が出来る。	首都大学東京	
76	福祉部 高齢者福祉課	八王子市介護 サービス相談 調整委員	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市介護サービス相談支援会議を構成し、サービス利用者からの不満等について調査及び審議をし、各種サービスを提供する事業者に対して指導、助言、勧告等を行う。	任期 平成27年11月1日 ～平成29年10月31日	事業を実施する上で、専門的分野の知識が不可欠であり、支援会議の円滑な運営に必要。	昭和女子大学	
77	福祉部 高齢者福祉課	家族介護者交流会	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	左記の教室でスタッフとして参加	1日	福祉系学部の学生が参加することで、地域課題の発見につながる。	創価大学	
78	福祉部 高齢者福祉課	グリーンヒル 寺田団地における市・UR・法政大学連携事業	継続	まちづくり	その他	市・独立行政法人都市再生機構・法政大学の3者が連携し、当団地の空店舗を、地域のサロニックな役割を担う新しい交流の場として活用するもの。	平成27年度～	高齢者から子どもまで幅広い世代の人々が気軽に集い、交流することで、地域の活性化に繋がるとともに、住民の社会参加を促し、地域の中で顔の見える関係が構築される。	法政大学	多摩地域交流センター
79	福祉部 高齢者福祉課	住民向け介護 予防教室	継続	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	高齢者の介護予防を目的に、リハビリ等の専門的な視点のもと、地域住民向け介護予防教室を開催(10月～12月の3ヶ月を1クールとして実施)	平成27年度～	リハビリ等の専門的な知見から同プログラムやその効果についての検証を実施するため、行政が主体的に進める介護予防施策の検討や実施等の参考となる。	帝京大学	
80	福祉部 障害者福祉課	八王子市社会 福祉審議会 障害者福祉専門分科会	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	身体障害者の障害程度、指定自立支援医療機関及び医師の指定に関する事項、その他障害者福祉に関する重要事項について調査審議する。	平成27年4月1日～	大学教授など学識経験者が委員に加わることで、学問的に裏付けられた知識を取り入れることができ、会議の円滑な進行が出来る。	田園調布学園大学	
81	医療保険部 地域医療政策課	落研(創価大学落語研究会による落語などの発表)	継続(平成27年度は未実施)	医療・福祉・健康	その他	指定管理者が大学に依頼し、落語や漫才で楽しいひと時と終わった後はお風呂で心も体も暖まっていたり事業。	平成29年2月11日(土)	学生たちに発表の場を提供でき、異世代間の交流が図れた。戸吹湯つたり館の集客に役立ち、利用者は、笑により健康増進となった。	創価大学	落語研究会

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
82	医療保険部 大横保健福祉センター (事務局移管)	八王子市保健福祉センター 運営協議会	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	センターの運営に関する基本的事項について協議し、また平成23年度以降は母子保健を中心として、幅広い年齢層へのサービス提供のあり方についても議論を行っている。	2年	学識経験者としての専門的知識や豊富な経験を、母子保健・介護予防事業を中心としたセンター運営の推進に生かすことができる。	東京純心大学	
83	医療保険部 南大沢保健福祉センター	敬老の日特別イベント「ハンドマッサージ教室」	継続	医療・福祉・健康	市の事業に大学等が協力	大学の教員に講師を依頼し、参加者に「ハンドマッサージ」の効果・効能などについて講習を行う、体験型イベント	平成28年9月21日(月・祝)	広報で参加者を募ったが、予想以上の反響があり、早い時期に募集人数を超える応募があった。参加者へのアンケート結果でも9割近くの方から、「良かった」という感想を頂き、今後の館の利用者増に繋がる効果があった。	山野美容芸術短期大学	安藤理美 研究室
84	医療保険部 大横・東浅川・南大沢 保健福祉センター	介護予防ロボット製作のための見学	継続	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	高専の5か年プロジェクトである事業で、学生が介護予防の現場を見学することで、高齢者の運動能力の実態、体力維持のためのプログラム内容を知り、サービスメカトロ(ロボット)の実用化推進と実践的エンジニアの育成に役立っている。	1年	介護予防の現場で役立つ技術・ソフトの研究開発の一助となることで、学生の高齢者についての理解を深め、現場職員にも外部の刺激を得ることができる。	東京工業高等専門学校	「社会実装インターン」プロジェクト
85	医療保険部 東浅川・大横・南大沢 保健福祉センター	老年看護学実習	継続	医療・福祉・健康	その他	成人・高齢者事業に参加し、高齢者等への理解を深める。 3日間の実習。	H28.7/12~14 H28.7/19~21 H28.7/26~28	単位取得に必須な実習。 高齢者等が健康づくり、生きがいづくりに努力している姿と看護職の役割を学んだ。	八王子市立看護専門学校	看護学科
86	医療保険部 東浅川・大横・南大沢 保健福祉センター 健康部 健康対策課、保健対策課	公衆衛生看護学実習	継続	医療・福祉・健康	その他	地域看護学実習の一環としての公衆衛生看護学実習。3保健福祉センターと保健所で実習を受け入れている。 保健所と保健福祉センター2週間ごと計4週間の実習。	5/6及び、 6/13~6/24、 6/27~7/8 ※H28年度は東浅川該当なし	単位取得に必須な実習。 行政の保健師活動の実際を学んだ。	杏林大学	保健学部 看護学科
87	健康部 健康政策課	はちおうじ健康づくり推進協議会団体参加	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	はちおうじ健康づくり推進協議会に団体として参加し、市民への健康づくり啓発活動への協力をおこなう。	平成15年11月~	協議会でおこなう啓発活動を通して、市内各大学に在学する学生の健康づくりに役立て、市民として自分の健康は自分で守る意識向上へつなげる。	八王子学生委員会	
88	健康部 健康政策課	保健医療計画	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	計画の策定及び進行管理に関する意見交換を行う推進会議において委員として参加し、専門的な見地から意見をいただく。	2年	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績、指導力などにより、事業目的が達成される。	東京純心大学	参加委員の改選に伴い、連携する大学が変更となった。
89	健康部 健康政策課	健康フェスタ	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	5月15日に開催した健康フェスタにおいて、会場内の警備及び駐車場警備、イベント従事を依頼。	平成28年5月15日	イベントに学生が従事することで、若い世代への声掛けや啓発活動がスムーズにできた	東京工科大学 創価大学 東京純心大学	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
90	健康部 健康政策課	食育推進計画	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	計画の策定及び進行管理に関する意見交換を行う推進会議において委員として参加し、専門的な見地から意見をいただく。	2年間	学識経験者としての専門的知識、豊富な経験・実績等を計画に反映することができる。	東京家政大学	
91	健康部 生活衛生課	動物講演会	継続	その他	検討会委員、講師派遣等に協力	(1)ペットのための災害対策～もう一人の家族を守るために～(2)ペットの健康チェック～不調のサインを見逃さないために～という2つのテーマで二人の講師をお招きし、講演会を実施した。	平成29年11月5日	動物に関する専門的知識を有する講師から講演会を通じて話を聞くことにより、参加した市民が動物の健康保持及び適正飼育のための管理方法等について専門的知識を習得することができた。	ヤマザキ学園大学	
92	健康部 保健対策課 (保健所)	エイズ普及啓発 ピアエデュケーション養成および普及啓発活動	継続	医療・福祉・健康	その他	同世代の仲間同士(ピア)がエイズについて(偏見のない社会づくり、感染拡大防止)考える「ピアエデュケーション」を行う学生を養成し、同年代の若者に対して、普及啓発活動を行う。大学祭・学園天国等でのブース出展を実施している。	通年	エイズ(HIV感染)は恋愛や性行動といった、大学生(若い世代)等の生活と密接に関係しており、ピアが同世代に語りかけることで、効果的な情報提供をおこなうことができた。	杏林大学	北島研究会
93	子ども家庭部 子どものしあわせ課	八王子市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	地方自治法に基づく市長の附属機関として、子ども・子育て支援に関する事項及び児童福祉施設等の認可・確認に関する事項について調査・審議する。	平成27年4月1日～3年(任期)	子ども・子育てに関する専門的知識を審議の中で活用することができる。	日本大学 明星大学	
94	子ども家庭部 子どものしあわせ課	八王子市における子どもの生活実態調査	終了	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	首都大学東京の「子ども・若者貧困研究センター」が、都内在住の子ども・若者(16～23歳)の生活の困窮の頻度、生活困窮者の属性、貧困の連鎖の度合い等を把握するための実態調査を八王子市において行うものである。	平成28年3月～平成29年3月	調査結果を、本市の子どもの貧困対策関連施策に活かしていくことができる。	首都大学東京 (子ども・若者貧困研究センター)	
95	子ども家庭部 児童青少年課	中高生企画事業 「児童館・こどもシティ」	継続	まちづくり	市の事業に大学等が協力	こどもたちが主役の町をつくり、そこで営まれる社会活動を体験し、こどもの社会性・協調性の向上や自ら考えて行動する自主性を育てる体験事業。その特徴はこどもたちが、運営・準備・企画をおこなう点にある。	10月から3月	美術、福祉など大学の特性を生かした体験事業を実施し、子どもにとって貴重な体験の場になっている。大学生と子どもの交流の機会になっている。	明星大学 東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 創価大学 中央大学 中央大学 十文字学園女子大学 帝京科学大学 首都大学東京	明星大学ボランティアサークル「メルシー」 創価大学児童文化研究会 帝京大学児童文化研究会 中央大学社会福祉サークル青い鳥 中央大学じゃりん子の会 明星大学どろんこの会 帝京大学どんぐりの会 首都大学東京児童文化研究会

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
96	子ども家庭部 児童青少年課	児童館まつり	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	こどもたちが主役の町をつくり、そこで営まれる社会活動を体験し、こどもの社会性・協調性の向上や自ら考えて行動する自主性を育てる体験事業。	9月～10月	大学サークル活動の場、また大学生と子どもの交流のみでなく青少対・小中学校PTAをはじめ地域交流が図られた。	明星大学 東京工科大学 日本工学院八王子専門学校 創価大学 帝京大学 中央大学 十文字学園女子大学 帝京科学大学 工学院大学 首都大学東京	明星大学ボランティアサークル「メルシー」 創価大学児童文化研究会 帝京大学児童文化研究会ステップ 中央大学社会福祉サークル青い鳥 中央大学じゃりん子の会 明星大学どろんこの会 帝京大学どんぐりの会 首都大学東京児童文化研究会
97	子ども家庭部 児童青少年課	児童館施設実習の受け入れ	継続	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	大学の保育実習の機会として市へ依頼し、実習の場を児童館が提供。	10～12月	受け入れをきっかけに児童館まつりの大学生の協力が推進できた。	東京家政学院大学 帝京平成大学・帝京科学大学 東京福祉大学 東京YMCA社会体育・保育専門学校 町田福祉保育専門学校・島根県立短期大学	
98	子ども家庭部 児童青少年課	児童館アドベンチャーラリー	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	児童館内・館庭にチェックポイントを設け、各ポイントで大学生の用意したゲーム等にチャレンジをしながら、全ポイントのクリアを目指す。	5月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	法政大学	ボランティアサークル「ニコスマ」
99	子ども家庭部 児童青少年課	大学生会議	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	各大学サークルに児童館の年間活動計画を説明し、児童館で行ってみたい活動について調整する。	4月 9月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	帝京大学 明星大学 中央大学 首都大学東京	帝京大学どんぐりの会 明星大学どろんこの会 中央大学じゃりんこの会 首都大学東京児童文化研究会
100	子ども家庭部 児童青少年課	スポーツ活動	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	市民センター体育館等を使用し、子どもたちがスポーツができる環境を提供する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	帝京大学 創価大学	
101	子ども家庭部 児童青少年課	人形劇	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	大学生が創作した人形劇を子どもたちに披露する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	首都大学東京	首都大学東京児童文化研究会

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
102	子ども家庭部 児童青少年課	あそび活動	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	子どもたちに様々な集団遊びを提供する。	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	帝京大学 工学院大学 十文字学園女子大学 明星大学 中央大学 首都大学東京	帝京大学児童文化研究会ステップ 帝京大学どんぐりの会 明星大学どろんこの会 中央大学じゃりんこの会 首都大学東京児童文化研究会
103	子ども家庭部 児童青少年課	命の大切さを学ぶ授業	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	中学校2年生を対象に、地域の連携・協力のもと、赤ちゃんとのふれあい体験、妊婦体験、助産師の講義を行う。	11月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、乳幼児・中学生・保護者との交流を図れた。	帝京大学 十文字学園女子大学	
104	子ども家庭部 児童青少年課	チャレンジ☆キッズ	継続	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	児童館の無い地域において、小学校・中学校の校庭・体育館を会場とした、児童館の日常の遊びを提供する事業	1年	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	首都大学東京	首都大学東京学生教育研究会
105	子ども家庭部 児童青少年課 (館ヶ丘児童館)	中高生講座「ゆかたで行こう!八王子まつり」	継続	その他	市の事業に大学等が協力	中高生むけのゆかた着付け講座。学生が講師として参加する。八王子まつり当日に体験することで、伝統文化とともに、地域行事に親しむ。	1日	学生が講師として参加することにより、中高生に対して進路や職業についての意識啓発を、より効果的に行うことができる。	山野美容芸術短期大学	
106	子ども家庭部 児童青少年課 (由木児童館)	美術大学のおねえさんと絵を描こう	終了	医療・福祉・健康	市が大学等にボランティアを依頼	普段触れ合う機会のない、児童文学作品集を制作している多摩美術大学の学生と、お絵かき遊びを一緒にやり交流し、小学生には美大生のセンスを感じ取ってもらい、美大生には絵本の対象者の小学生を知ってもらう。	平成28年6月・7月	大学生にボランティア活動の場を提供するとともに、子どもたちとの交流を図れた。	多摩美術大学	多摩美術大学 絵本創作研究会
107	子ども家庭部 児童青少年課 (由木児童館)	在宅で乳幼児を育てる高齢初産の母親の育児困難感と子育て支援ニーズインタビュー調査	終了	医療・福祉・健康	大学等の研究事業に市が協力	高齢初産婦の支援を検討するため、由木児童館事業「アラフォーママあつまれ」参加者に調査の目的を説明し、協力してもらうことができるお母さん方に個別にインタビュー調査を行う。	平成28年11月・3月	児童館利用の高齢初産婦のニーズを把握し、今後の支援の検討を得ることができた。	西武文理大学	西武文理大学 看護学部
108	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	八王子市子ども家庭支援センター運営協議会	継続	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市子ども家庭支援センター運営協議会に委員として参加していただく。	2年	有識者としての意見と、会長として委員の皆さんの意見をまとめていただいている。	法政大学	現代福祉学部教授
109	子ども家庭部 子ども家庭支援センター	看護学校授業	終了	医療・福祉・健康	検討会委員、講師派遣等に協力	子ども育成計画・子ども家庭支援センターの目的と役割を理解し支援の必要性について学ぶ。	平成28年度(随時)	子ども家庭支援センターの役割を知ると共に母子保健の観点から地域における子育て支援を考える場とする。	市立八王子看護学校	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
110	産業振興部 産業政策課	大学と企業の交流会	継続	産業振興	その他	大学キャリアセンター職員と市内企業が交流することで顔の見える就活スタイルを実現していく。	年2回	交流会をきっかけに市内企業と大学とのつながりが生まれた。	中央大学、創価大学、拓殖大学、帝京大学、杏林大学、実践女子大学、東京工科大学、明星大学、多摩大学、東京造形大学、東京家政学院大学、首都大学東京、工学院大学、東京工業高等専門学校	キャリアセンター
111	産業振興部 産業政策課	webサイトはちおうじ就職ナビ	継続	産業振興	市の事業に大学等が協力	はちおうじ就職ナビを、大学の企業説明会や面接会などで周知。	通年	八王子市内の企業を学生に知ってもらえる機会を持つことができた。	大学コンソーシアム八王子を通じて全大学	キャリアセンターなど
112	産業振興部 企業支援課	産学連携による研究・開発費等補助金事業評価懇談会	継続	産業振興	検討会委員、講師派遣等に協力	産学連携による研究・開発費等補助金事業の内容について、外部専門家からの意見又は助言を求めるための事業評価に係る懇談会。	3月22日 (任期は27年度から2ヶ年度)	学識経験を有する専門家から意見や助言をもらうことで、補助制度の充実に繋がっている。	拓殖大学	
113	産業振興部 企業支援課	八王子市先端技術センター運営懇談会	継続	産業振興	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市先端技術センター条例第1条に定める「先端技術センター」の運営に当たり、外部専門家からの意見又は助言を求めるための懇談会。	12月15日 3月22日 (任期は27年度から2ヶ年度)	学識経験を有する専門家から意見や助言をもらうことで、適正な施設運営に繋がっている。	拓殖大学	
114	産業振興部 企業支援課	先端技術セミナー	終了	産業振興	市の事業に大学等が協力	市内の中小企業を対象とした技術セミナーの講師。	平成28年5月21日	中小企業に先端技術情報を紹介し、活用するためのきっかけとする。	東京工業高等専門学校 拓殖大学	
115	環境部 環境政策課	八王子環境フェスティバル	継続	環境	その他	八王子の環境について考え、環境保全等を啓発する場として、年1回環境フェスティバルを開催している。その企画・広報等一切を、産・官・学・民から構成される実行委員会が担っており、協働事業として実施している。	6月	実行委員会のメンバーに、大学生の立場として企画の段階から参画してもらうことにより、斬新で、新鮮な発想を取り入れることができる。また、大学相互の連携により、参加大学の広がりが期待できる。	中央大学 工学院大学 帝京大学	
116	環境部 環境政策課	環境審議会	継続	環境	検討会委員、講師派遣等に協力	市長の諮問に応じ、環境に関する基本的事項について調査審議し、答申する。	任期 2年	学識経験者として専門的見地から意見をいただくことにより、市の環境行政を適正に推進することができる。	中央大学 明星大学 首都大学東京 東京工科大学	
117	環境部 環境政策課	インターンシップ生の受け入れ	継続	環境	その他	東京都公認の人材育成制度であるECO-TOPプログラムに認定を受けた大学から依頼を受け、環境行政に関心を持つ学生をインターンシップ生として環境政策課、環境保全課で受け入れる。	8月	学生に環境施策等を理解してもらう機会になるとともに、学生の意見を直接聞く機会となった。	首都大学東京	都市環境学部 自然・文化ツーリズムコース
118	環境部 環境政策課	環境に関する授業の実施	継続	環境	大学等の研究事業に市が協力	学生が持続可能な社会を実現するためのデザインについて学ぶにあたり、社会の最新の動向を身に付けるため、自治体における環境活動をテーマに授業を実施	4月～7月	身近な地域の環境の現状と行政の取り組みの実態について知り、また実例に基づく課題の解決について考えることにより、社会において環境のために行動できる人材の育成に役立てる。	東京造形大学	デザイン学科 サステナブルプロジェクト専攻領域 (山際教授)

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
119	環境部 環境政策課	八王子市温暖化防止センター運営委員会	終了	環境	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子市温暖化防止センターを運営するにあたり、大学及び学生の立場から運営体制、事業等について協議する。	1年	市内の様々な主体が連携、協力して温暖化対策を推進する組織の運営にあたり、大学及び学生の立場からの意見・提案を反映することができる。	杏林大学 創価大学 日本文化大学 東京工業高等専門学校	
120	環境部 環境政策課	地球温暖化対策普及啓発イベント	継続	環境	市が大学等にボランティアを依頼	12月の地球温暖化防止月間に、地球温暖化防止について広く市民に関心を持ってもらうことを目的に、環境講演等の開催といった地球温暖化対策啓発イベントを実施する。	1日	市の環境行政に関心を持ってもらえるとともに、仕事を通じて学生の学業以外における人材育成の場を提供することができる。	東京工科大学 杏林大学 中央大学 工学院大学 東京造形大学	
121	環境部 環境政策課	八王子環境フェスティバル	継続	環境	市が大学等にボランティアを依頼	八王子の環境について考え、環境保全等を啓発する場として、年1回環境フェスティバルを開催している。その企画・広報等一切を、産・官・学・民から構成される実行委員会が担っており、協働事業として実施している。	6月	自分たちの出展以外にボランティアに参加してもらうことにより、全体のつながりや連帯感を持って一つのイベントを作り上げていく意識が生まれる。	帝京大学(学生) 東京造形大学(学生) 日本工学院専門学校	
122	環境部 環境政策課	工学院大学わくわくサイエンス祭 理科教室	継続	環境	大学等の研究事業に市が協力	「つくる ふれる 楽しむ」をテーマに、小中高生に科学の楽しさを知ってもらう目的で開催されている理科教室において、人力発電電車を出展することにより、環境にやさしいエネルギーという切り口から環境教育を実施する。	8月	環境教育を実施し、未来を担う子どもたちに環境問題について考える機会を提供することができる。	工学院大学	
123	環境部 環境政策課	インターンシップ生の受け入れ	継続	環境	その他	市・大学との間で覚書を取り交わし、行政に関心を持つ学生をインターンシップ生として環境政策課、環境保全課で受け入れる。	8月	学生に環境施策等を理解してもらう機会になるとともに、学生の意見を直接聞く機会となった。	明星大学	
124	環境部 環境保全課	斜面緑地保全委員会委員	継続	環境	検討会委員、講師派遣等に協力	「市街地内丘陵地のみどりの保全に関する条例」に基づき(1)保全区域の指定に関する(2)保全基準に関する(3)行為の届出の勧告に関すること等重要事項について審議する。	2年	1. 専門的分野からの助言が得られる。 2. 現地調査等で、学生との協働が可能になる。 3. 研究の成果を活用することも可能になる。	創価大学 日本大学 中央大学	
125	資源循環部 ごみ減量対策課	ごみゼロ社会推進協議会委員の依頼	継続	環境	検討会委員、講師派遣等に協力	八王子学生委員会に「ごみゼロ社会推進協議会」の委員を依頼。	任期2年	一般廃棄物の減量及び再利用の促進、またその適正な処理等の市の施策に関し、協議会委員である学生から意見を聴取することを目的とする。	八王子学生委員会 (日本文化大学)	
126	資源循環部 北野清掃工場	あったかホールまつり	継続	環境	市が大学等にボランティアを依頼	北野余熱利用センターで年1回(11月)地域住民の親睦の場と、ごみ減量、環境啓発を目的とした「あったかホールまつり」を開催している。学生にボランティアを依頼し、環境啓発ブース及びごみ分別ブースでスタッフとして活動してもらう。	11月	学生に環境学習・教育の施策を理解してもらう機会を提供し、市民(学生)と行政協働での環境啓発を行い、学生としての意見を聴取し今後の環境整備に役立てる。	東京工科大学	
127	都市計画部 都市総務課	八王子市都市計画審議会	継続	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	都市計画法に規定された審議会で、市長の諮問に応じ都市計画に関する事項を調査・審議する。	-	専門領域から審議への知見の提供。	工学院大学 首都大学東京	篠沢健太教授 角田誠教授

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
128	都市計画部 交通企画課	「(仮称)八王子市自転車利用環境整備計画」策定にむけた懇談会	終了	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	「(仮称)八王子市自転車利用環境整備計画」の策定にあたり、市の検討内容への助言を得る。	H27~28(4回開催)	専門領域からの中立的助言による知見の提供。	首都大学東京	都市環境学部 都市基盤環境コース 小根山教授
129	都市計画部 都市計画課	都市復興マニュアルの活用	継続	防災	市の事業に大学等が協力	震災からの都市の復興を円滑に進めるため、専門家の立場から技術的サポートを受け、震災復興模擬訓練を行い、職員の能力向上を図る。	1年	1. 震災からの円滑な復興を進めるため、大学の専門知識を活用し、職員の能力向上を図ることができる。 2. 大学にとっては行政側の経験等に関する特技を収集でき、調査研究に役立てることができる。	首都大学東京	市古太郎准教授
130	拠点整備部 中心市街地政策課	八王子古本まつり	継続	産業振興	その他	八王子駅ユーロードで行う古本まつりのブースの手伝いを行う。	年2回	学生には社会経験となった。企業側にとっては若年層の嗜好などの判断材料となった。	東京工科大学	学務課
131	まちなみ整備部 住宅政策課	八王子市営住宅管理審議会	継続	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	市営住宅の適正な管理運営を図るため、市長の諮問に応じ、市営住宅の管理計画及び管理に関する重要事項について審議する。	任期 2年	専門的な意見をいただくことが可能である。	首都大学東京(~H29.8.14)	都市教養学部 都市政策コース 朝日准教授
132	まちなみ整備部 まちなみ景観課	八王子市まちづくり審議会	継続	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	地区まちづくり推進条例に規定された審議会で、市長の諮問に応じ、同条例に定めるまちづくりに関する事項を調査・審議する。	2年	専門領域から審議への知見の提供。	工学院大学	建築学部 野澤教授
133	まちなみ整備部 まちなみ景観課	中町まちづくり協議会活動協力	継続	まちづくり	その他	花街の風情漂う中町で、地区住民等により構成される中町まちづくり協議会が行うまちづくり活動に協力している。	4月~3月	学生の視点から、地域課題の発見等につながると共に市民交流の促進にもつながる。	工学院大学	建築学部 野澤教授ゼミ
134	まちなみ整備部 まちなみ景観課	八王子市景観審議会	継続	まちづくり	検討会委員、講師派遣等に協力	本市景観条例に規定された審議会で、市長の諮問に応じ、同条例に定める良好な景観形成の推進に関する事項を調査・審議する。	2年	1. 専門家に意見を求めることで、議論の内容が深まる。 2. 専門家が会議のとりまとめを行うことで、円滑な審議会の運営が行われる。	首都大学東京(都市環境学部)	川原准教授
135	道路交通部 交通事業課	小学生交通安全絵画コンクール	継続	教育	市の事業に大学等が協力	小学生の交通安全の啓発を目的として、小学校3年生を対象とした絵画コンクール。優秀作品は秋の交通安全運動のポスターになる。	12月~9月	専門家による選定により、公平でより良い交通安全ポスターができる。	多摩美術大学	
136	道路交通部 交通事業課	自転車駐車場管理運営	継続	環境	市の事業に大学等が協力	多摩都市モノレール中央大学・明星大学駅に313.69㎡の土地の無償提供を受け(平成12年10月から)、自転車駐車場として一般に開放。	4月~3月	平成24年10月の調査では、266台の利用がある。	中央大学	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
137	道路交通部交通事業課	自転車駐車場管理運営	継続	環境	市の事業に大学等が協力	多摩都市モノレール中央大学・明星大学駅に257㎡の土地及び自転車駐車場施設の無償提供を受け(平成16年7月から)、一般に開放。	4月～3月	平成24年10月の調査では、109台の利用がある。	明星大学	
138	道路交通部交通事業課	放置自転車対策	継続	環境	市が大学等にボランティアを依頼	東京都及び八王子市主催の駅前放置自転車クリーンキャンペーンにおいて、南大沢駅周辺で啓発ティッシュの配布。	1日	1、意欲ある若者が啓発品を配布することで、市民に対する啓発効果の増進に繋がる。 2、イベント時に学生と協力して啓発を行うことで、キャンペーンのイメージをポップにできる。	27年度 首都大学東京 28年度 日本工学院 八王子専門学校	管理部 学長室
139	道路交通部交通事業課	交通安全教育	継続	教育	市の事業に大学等が協力	大学での学生の集まりの場(新入生ガイダンス)などで自転車の交通ルール・マナーの啓発を行う。	1日	大学生になる新1年生に自転車の交通ルールを啓発することによって、これからの通学等で使う自転車のルール・マナーが向上し、市内の交通事故が減少する。	工学院大学	学生支援部 学生支援課
140	議会事務局庶務調査課	議会報告会開催ポスター	継続	その他	市の事業に大学等が協力	議会報告会開催のポスターとチラシを大学へ送付し、掲示を依頼。	年1回	学生に議会への関心を高めてもらい、積極的に参加を呼びかける。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
141	議会事務局庶務調査課	市議会だより表紙写真募集ポスター	継続	その他	市の事業に大学等が協力	市議会だより表紙写真募集のポスターとチラシを大学へ送付し、掲示を依頼。	年4回	学生に議会への関心を高めてもらい、積極的に参加を呼びかける。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
142	議会事務局議事課	議会定例会開催ポスター	継続	その他	市の事業に大学等が協力	定例会開催のポスターとピラを大学へ送付し、掲示を依頼。	年4回	学生に議会への関心を高めてもらい、積極的に参加を呼びかける。	大学コンソーシアム八王子加盟 25大学等	
143	選挙管理委員会事務局	選挙時における投・開票事務への学生アルバイトの導入	継続	その他	市の事業に大学等が協力	各投票所での受付業務。	選挙時	若年層への選挙啓発及び選挙事務に従事する市職員数の減。	工学院大学、明星大学、帝京大学、東京造形大学、東京工科大学、杏林大学、多摩美術大学、創価大学、東京薬科大学、拓殖大学、中央大学、共立女子大学、首都大学東京、東京純心大学、山野美容芸術短期大学、東京家政学院大学	
144	選挙管理委員会事務局	選挙時における啓発活動	継続	その他	市の事業に大学等が協力	学校構内の選挙公報備え置きの協力。	選挙時	若年層への選挙啓発。	創価大学	
145	選挙管理委員会事務局	中・高校生向け選挙啓発チラシの作成協力	終了	その他	市の事業に大学等が協力	平成28年6月から選挙権年齢が18歳に引き下げられるに伴い、中・高校生向け選挙啓発チラシの作成に大学が協力した。	H27～H28	大学生が若者の感性でチラシを作成協力することにより、中・高校生にも受け入れやすい内容に仕上がった。(チラシは28年度から配布予定)	杏林大学	木暮ゼミ

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
146	選挙管理委員会事務局	学生天国での模擬投票・アンケート調査	継続	その他	大学等の研究事業に市が協力	毎年5月に開催される学生天国(合同学園祭)において、模擬投票及びアンケート調査を行い、政治意識の向上を図る。	5月	若者が集う学生イベントで模擬選挙・選挙啓発を行うことで、政治意識の向上につなげることができる。	杏林大学 帝京大学	木暮ゼミ 水谷ゼミ
147	学校教育部 学校教育政策課	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価	継続	教育	検討会委員、講師派遣等に協力	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うにあたって、教育に関する学識経験を有する者の知見の活用を図る。	年2回	専門分野における高度な知識に基づいた意見を点検及び評価に活かすことができる。	国土館大学	
148	学校教育部 指導課	指導力パワーアップ研修	継続	教育	市の事業に大学等が協力	教員の資質の向上を図るための市独自の教員研修として、指導課・施策推進委員会・資料作成委員会・学校・小中教研等が講座を企画・運営し、それぞれの課題に応じた研修を開設し講座を実施した。	平成28年度は 7月26日～8月24日	大学から講師を招聘し、専門的で高度な研修を受けることができる。また、小・中教員の大学等に対する理解を深めることができる。	中央大学、多摩美術大学、東京家政学院大学、東京女子体育大学、早稲田大学、帝京大学、青山学院大学、工学院大学、明星大学、創価大学、関東学院大学、清心女子大学、横浜国立大学、学習院大学、玉川大学、首都大学東京、十文字学園女子大学、上野学園大学、常葉大学、新潟大学、聖学院大学、都留文科大学、東京学芸大学、東京聖栄大学、日本女子大学、日本体育大学、白梅学園大学	
149	学校教育部 指導課	学校インターンシップ	継続	教育	市の事業に大学等が協力	市内及び近隣の大学と教育委員会とで協定を結び、市立小・中学校に週1日程度、学生を実習生として派遣している。派遣期間は、前期・後期・年間に分かれている。なお、臨床心理士を目指す大学院生も、この事業に組み込まれ、市立小・中学校に派遣されている。平成27年度は、約281名の学生・院生を受け入れている。	通年	教職を目指す学生に実習の場を提供するとともに、学校の授業や行事の補助的な指導に携わることによって児童・生徒の個に応じた指導が充実した。また、学校側では若い外部人材が入ることにより教職員もよい刺激を受けている。	創価大学、帝京大学、明星大学、東京純心大学、法政大学、中央大学	
150	学校教育部 指導課	小学校科学教育センター	継続	教育	市の事業に大学等が協力	土曜日及び夏季休業中に、希望する小学校6年生を対象として、科学の実験や観察、見学、ホームページ制作、自由研究などを行っている。 平成26年1月に、「八王子市教育委員会と東京工業高等専門学校との間における教育・研究に関する連携協定」を締結している。	8月	児童に科学に対する興味・関心を高めることができる。大学等に対する理解を深めることができる。	帝京大学 東京工業高等専門学校	
151	学校教育部 指導課	教員研修実務研究	継続	教育	大学等の研究事業に市が協力	教職大学院生に、教員養成研修事業の概要の理解を目的とした授業(4月)、本市教育センターにおける運営等の実務体験(6月)、をとおして研修の企画・立案・運営等を学ばせる。また、指導主事が大学に出向き、指導主事の役割等について、院生に対して講義を行い(12月)、「教職課題研究論文発表会」のコメンテーターとして、指導・助言を行っている。	5月 6月 12月 2月	管理職や指導主事等、教員の指導的役割を担う職を目指す教職大学院生に教員研修の実務を学ばせたり、学びの総仕上げとして、研究論文発表会での企画力・プレゼンテーション力をとおして、資質の向上を図っている。	創価大学教職大学院	
152	学校教育部 指導課	学校臨床実習	継続	教育	大学等の研究事業に市が協力	臨床心理士を目指す大学院生を小・中学校に派遣し、実習させている。大学院が単位認定し、平成23年度に引き続き、学校インターンシップ事業の一部として実施している。	9月からおよそ半年の間	小・中学校においては、教育相談の活性化を図ることができ、児童・生徒の相談役等として児童・生徒理解も進んでいる。	創価大学大学院	

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
153	学校教育部 指導課	教職実践演習	継続	教育	大学等の研究事業に市が協力	教育実習を終えた学生に、「教職実践演習」において、必要とされている事項と関連するテーマについて、市内の教諭、教育委員会指導主事および大学教員によるパネル・ディスカッションを行い、教員への自覚を促す。	9月 10月 11月	市内初任者教諭・主幹教諭・指導主事といった職層や経験年数の異なる立場からみた教育課題等や教員の実際について話をきくことで、教員養成の総仕上げにつなげている。	中央大学	
154	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課	「生涯学習 コーディネーター」養成講座	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	市民に生涯学習の情報を提供し、支援していく「生涯学習コーディネーター」を養成する全3回の講座を(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩の協力で実施した。	H17.5~9 H18.6~9 H19.11~12 H20.9~11 H21.8~10 H22.6~7 H23.10~12 H24.5~7 H25.5~6 H26.5~6 H27.5~6 H28.5	受講生を広域募集できる。	(社)学術・文化・産業ネットワーク多摩 (※拓殖大学の教授に講師を依頼)	
155	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課	生涯学習フェスティバル	継続	生涯学習	その他	市と八王子市学習支援委員、八王子生涯学習コーディネーター会の共催事業で、市民の生涯学習活動へのきっかけづくりと学習成果の発表、市民相互の交流の場として開催した。	H17.10 H18.10 H19.10 H20.10 H21.10 H22.10 H23.10 H24.10 H25.10 H26.10 H27.10 H28.10	舞台発表、雑誌のリサイクル、記録写真の撮影、スポーツレクリエーション、総合案内等多岐にわたり主催者とともに活躍していただき、事業を円滑に進めることができる。	中央大学 創価大学 東京薬科大学 杏林大学 日本工学院八王子専門学校	
156	生涯学習スポーツ部 生涯学習政策課	生涯学習審議会	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	教育委員会からの諮問に応じ、生涯学習の振興に関する計画の立案、施策及び事業の評価等について調査・審議し答申を行う。	通年	専門分野からの意見・事例紹介が得られる。	大妻女子大学 創価大学 帝京大学	
157	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	八王子市民水泳大会	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	教育委員会の主催事業で、八王子市水泳連盟(主管)に事業委託をし、実施している。50m屋内プールでの水泳競技大会(種目は、自由形、平泳ぎ、背泳、バタフライ)。	平成17年~	大学担当課の全面協力によりスムーズな進行ができた。また、環境の整った施設での大会のため、毎年300名を超える参加があり、水泳を楽しむ人の目標の大会になっている。今年度は参加者数が過去最多の479名となった。	法政大学	保健体育部 多摩体育課
158	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	継続	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	平成24年~	イベントの現場のみで感じられる緊張感、一体感を共有することができる他、異なる団体が1つの目的により連携する体験ができた。	東京工科大学 日本工学院八王子専門学校	
159	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	継続	生涯学習	市が大学等にボランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインとしたコースで開催する駅伝大会。	平成22年~	大会本部及び各中継所の救護所の運営を保健学部の学生に担当してもらい、安全な大会運営が行えた。	杏林大学	保健学部 救急救命学科

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
160	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	全関東八王子 夢街道駅伝伝 競走大会	継続	生涯学習	市が大学等にボ ランティアを依頼	JR八王子駅北口をスタートし甲州街道をメインと したコースで開催する駅伝大会。	平成13年～	選手・役員を輸送するため大学のバスを 提供してもらい、大会運営を円滑に行うこ とができた。	学校法人 片柳学園(東京工科 大学 日本工学院八王子専門学 校) 山野美容芸術短期大学 明星大学 創価大学	
161	生涯学習スポーツ部 スポーツ振興課	ジュニア育成 事業バドミント ン教室	継続	生涯学習	市の事業に大学 等が協力	スポーツ関係団体及び大学と連携し、地域におけ るジュニアスポーツの普及と、ジュニア選手の発 掘及び育成を推進することを目的とするバドミント ン教室を春・秋に開催した。	10月30日 11月20日	ジュニア選手の発掘及び育成を推進。法 政大学バドミントン部コーチ及びアシスタ ントコーチを招き、レベルの高いデモンスト レーションを見て学ぶことでジュニア世代 の競技継続及びレベルアップの動機づけ を促す。	法政大学	
162	生涯学習スポーツ部 スポーツ施設管理課 公財)八王子市学園都 市文化ふれあい財団	ジュニアランニ ング教室	継続	教育	その他	小中学生を対象に短距離走のトレーニング方法 や400m実体験、トップアスリートによるデモンスト レーションなどを行いその魅力を体験する。	平成28年1月23日	アトランタご五輪代表の苅部監督や次期 五輪代表候補の学生らの「本物」に魅せら れて子どもたちの目が輝き陸上競技に対 する関心が高まる	法政大学	陸上競技部
163	生涯学習スポーツ部 スポーツ施設管理課 公財)八王子市学園都 市文化ふれあい財団	はちおうじダッ シュ!	継続	教育	その他	小学生50m競争を各学年・男女別で行う大会で、 ランニングクリニックなどを入れて個々のレベルを アップし、全員への記録証配布や入賞者へのメダ ル・表彰などを行った。	平成28年8月2日	審判・進行などの運営やランニングクリ ニックのコーチングなどを大学陸上部に依 頼し約100人の学生が参加した。学生によ るデモンストレーションに子どもたちの関 心が高まり、学生は社会人基礎力向上の 場となる。	帝京大学 中央大学 法政大学	陸上競技部
164	生涯学習スポーツ部 学習支援課(生涯学習 センター川口分館)	家庭教育講座	継続	芸術・文化	市の事業に大学 等が協力	パイプオルガンに触れてみよう	H17.7.30 H18.8.2 H19.8.8 H20.8.8 H21.8.4 H22.8.6 H23.8.6 H24.8.4 H25.8.3 H26.8.2 H27.8.9 H28.8.6	普段触れる機会のない「パイプオルガン」 を間近に見て、構造を知り演奏をしてみる という特別な体験を市民(小・中学生とそ の保護者)に提供できる。	東京純心大学	
165	生涯学習スポーツ部 こども科学館	親子化学実験 教室	継続	生涯学習	市の事業に大学 等が協力	夏休みの講座のひとつとして、首都大学東京の 学生の化学サークルのメンバーが講師となって、 準備、実施等をおこない、親子で光るスライム、マ イクロカプセルと虹色の液晶を作った。	平成28年8月22日	1. 講師役の学生たちは薬品等の扱いに 慣れていないため、参加者は、安全に薬品 を使い、身近な物を作る経験ができた。 2. 学生が講師役となって、普段関わり のない年齢層(親子)を教えることにより、学 んでいることの再確認ができたと考えた。	首都大学東京	化学サークル (TMU-SFC)
166	生涯学習スポーツ部 こども科学館	科学実験 ショー	継続	生涯学習	市の事業に大学 等が協力	実験教室への申込者に対して、人工イクラ作りの 教室を開催。 オリエンテーションホールで、来館者に対して、液 体窒素を使った科学実験ショーを開催。	平成28年8月10日	1. 講師役の学生たちは他でも講座を行っ て慣れていないため、参加者は、安全に薬 品を使って講座に参加することができた。 2. 学生が講師役となって、普段関わり のない年齢層(親子)を教えることにより、学 んでいることの再確認ができたと考えた。	工学院大学	サイエンス・クリエ イト・プロジェクト (SCP)

調査票A-②(既存連携事業<継続中>)

調査票A-② : 既存連携事業<継続中>

平成29年2月現在

事業No	所管部課名	事業名	継続or終了	事業区分	連携形態区分	事業内容(100字以内で)	実施期間	連携・協力による効果(100字程度で)	連携した大学名	
									大学名	研究室・ゼミ名
167	生涯学習スポーツ部 こども科学館	博物館実習生の受入	継続	その他	大学等の研究事業に市が協力	学芸員実習生を受入、10日間の実務をする。	平成28年8月	なし	白梅学園大学 多摩美術大学 共立女子大学 東京農業大学 工学院大学	
168	生涯学習スポーツ部 こども科学館	八王子「宇宙の学校」	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	年4回開催する子ども科学教室と家庭学習を組み合わせ、より探究心の強い子ども達の育成を図る。	平成28年6月～11月	学生が講師の補助役として、普段関わりのない年齢層(親子)を指導する機会を提供できた。	東京工科大学 ※東京薬科大学(28年度より新規参加) ※創価大学(28年度より新規参加)	
169	図書館部 中央図書館	紹介状発行による市民の大学図書館利用	継続	生涯学習	市の事業に大学等が協力	市図書館が紹介状を発行することで、市民が大学図書館で閲覧・複写等のサービスを受けることができる。	通年	八王子市民が直接利用ができない大学図書館を八王子市の図書館を通すことによって個人で利用ができる。	市内各大学など	
170	横山第一小学校	指導力パワーアップ研修	継続	教育	市の事業に大学等が協力	教員の資質の向上を図るための学校主催の教員研修として、講座を企画・運営し、それぞれの課題に応じた研修を開設し講座を実施した。	平成28年8月21日	大学から講師を招聘し、専門的で高度な研修を受けることができる。また、小・中教員の大学等に対する理解を深めることができる。	東京家政学院大学	生活デザイン学科 小口教授 山崎准教授
171	横山第一小学校	家庭科出前授業	継続	教育	その他	家庭科の授業に特別講師として招へいし、日本の和食についての講義と、鰹節削り体験、出し汁の飲み比べ体験を実施した。	平成29年2月13日	大学教授による専門性の高い授業を提供することができ、児童の意欲・関心が高まった。	東京家政学院大学	生活デザイン学科 小口教授
172	横山第一小学校	大学生による家庭科支援	継続	教育	その他	3学期の家庭科(調理実習)に大学生が支援に入り、児童の実技指導の補助や、学習への助言を行う。	2～3月	生活デザイン学科(家庭科教師志望者含む)による、専門的な助言や実技指導を受けることができ、児童の学習への意欲・関心が高まった。	東京家政学院大学 生活デザイン学科3年生(8名)	
173	長房小学校	算数教室ボランティア	継続	教育	その他	学校運営協議会からの要請により、ボランティア活動を展開。	平成28年8月24日～8月26日	児童の教育活動をサポートしていただき、たくさんの喜びがあった。	創価大学	児童文化研究部
174	長房小学校	人形劇	継続	教育	その他	学校運営協議会からの要請により、ボランティア活動を展開。	平成28年9月8日	児童の教育活動をサポートしていただき、たくさんの喜びがあった。	創価大学	児童文化研究部
175	由井第一小学校	学校インターンシップ	継続	教育	市の事業に大学等が協力	大学から、週1日程度、将来教員を志望している学生を実習生として派遣してもらい、授業の支援等をお願いしている。本校への派遣は、昨年が5名、今年度は3名、期間は年間である。	通年	学生に、学校の授業や行事の補助的な指導に携わってもらい、児童の個に応じた指導が充実した。また、学校としても、次代を担う人材と関わることによって、教職員もよい刺激を受け、さらに教職を目指す学生にとっても、現場での経験は今後の学びに活かしてもらえる。	明星大学	